

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価項目	評価規準
1 学期	6 ・ 7 月	心の発達	【知技】	心は、様々な生活経験や学習を通して、年令とともに発達することを理解している。
			【思判】	よりよく心を発達させる適切な方法を考えたり、表現したりしている。
			【主体】	心の発達について関心をもち、学習に進んで取り組もうとしている。
		心と体の関わり	【知技】	心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解している。
			【思判】	心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連づけて考えたり、表現したりしている。
			【主体】	心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。
		不安やなやみなどへの対処	【知技】	不安や悩みへの対処には様々な方法があり、自分の不安や悩みに合った適切な方法で対処できることを理解している。
			【知技】	呼吸法などの対処のしかたを実践できる。
			【思判】	不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選んだり表現したりしている。
			【主体】	不安や悩みへの対処法について、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。
2 学期	1 ・ 1 ・ 1 ・ 2 月	けがや事故の起こり方	【知技】	けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解している。
			【思判】	けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、考えたり表現したりしている。
			【主体】	けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。
		学校や地域でのけがの防止	【知技】	学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解している。
			【思判】	自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明している。
			【主体】	学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。
		交通事故の防止	【知技】	交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを理解している。
			【思判】	自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、表現している。
			【主体】	交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、学習に進んで取り組もうとしている。
		犯罪被害の防止	【知技】	犯罪被害に遭わないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解している。
			【思判】	犯罪被害に遭いやすい場所かどうかを判断し、安全な行動を考えて、説明している。
			【主体】	犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表など学習に進んで取り組もうとしている。
		けがの手当	【知技】	けがは、種類や程度を速やかに把握して処置したり、大人に知らせたりすることが大切であることを理解している。
			【知技】	簡単なけがの手当ができるように実習している。
			【思判】	けがの適切な手当の方法を選んだり、説明したりしている。
			【主体】	けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりする学習に進んで取り組もうとしている。